

## Max Classroom.net

## 入試問題アプローチ 2018

筑波大学

(試験時間 120 分)

## A 入試概況

過去3年間の入試概況

	2018年度				2017年度				2016年度			
	定員	受験者	合格	倍率	定員	受験者	合格	倍率	定員	受験者	合格	倍率
前期	1,302	4,413	1,401	3.1	1,309	4,931	1,445	3.4	1,317	4,481	1,469	3.1
後期	174	707	194	3.6	1,758	854	214	4.0	177	780	229	3.4
合計	1,476	5,120	1,595	3.2	3,067	5,785	1,659	3.5	1,494	5,261	1,698	3.1

前・後期別(方式別)入試： 過去3年間の受験者数、合格者数、倍率

		2018年度入試			2017年度入試			2016年度入試		
		受験者	合格	倍率	受験者	合格	倍率	受験者	合格	倍率
人文文化	前期	519	166	3.1	545	174	3.1	485	180	2.7
	後期	113	30	3.8	148	31	4.8	129	32	4.0
社会国際	前期	494	148	3.3	638	143	4.5	491	148	3.3
人間	前期	346	99	3.5	387	97	4.0	345	95	3.6
情報	前期	540	149	3.6	545	162	3.4	489	160	3.1
	後期	184	45	4.1	161	44	3.7	118	44	2.7
理工	前期	1,086	383	2.8	1,247	393	3.2	1,135	398	2.9
	後期	193	70	2.8	242	73	3.3	220	78	2.8
医	前期	453	160	2.8	516	153	3.4	463	154	3.0
体育	前期	465	144	3.2	469	144	3.3	483	151	3.2
生命環境	前期	391	136	2.9	430	143	3.0	420	142	3.0
	後期	110	48	2.3	161	51	3.2	145	54	2.7
芸術	前期	119	50	2.4	154	51	3.0	170	52	3.3
	後期	107	17	6.3	125	23	5.4	142	22	6.5
合計		5,120	1,645	3.1	5,768	1,682	3.4	5,235	1,710	3.1

\* 合計の倍率は全体受験者÷全体合格者の計算式で算出

2015年度は入試変更が多く敬遠されたが、2016年度以降はその揺り戻しと第1次選抜廃止により人気回復してきた。入試改革への取り組みが国立の中でも早く、2019年度からは一般入試を含め全ての方式で英語4技能試験を義務化する予定で動いていたが、2021年度の入試改革をまって全学的に導入するということになった。

## 過去3年間の合格者のセンター900集計 得点率平均 (Benesse 集計)

	一般入試 前期			一般入試 後期		
	'18	'17	'16	'18	'17	'16
人文文化	<b>80.6</b>	79.9	79.2	<b>86.8</b>	86.7	86.1
社会国際	<b>82.4</b>	83.2	81.4			
人間	<b>83.3</b>	83.6	83.1			
情報	<b>78.2</b>	78.0	77.4	<b>85.3</b>	82.0	81.2
理工	<b>80.2</b>	80.8	79.9	<b>86.9</b>	86.8	86.7
医	<b>82.9</b>	83.8	83.0		86.6	83.1
体育	<b>77.9</b>	80.1	78.1			
生命環境	<b>80.6</b>	80.3	79.7	<b>84.2</b>	83.9	82.9
芸術	<b>74.2</b>	74.7	76.3	<b>73.3</b>	75.4	76.6

## 過去3年間の合格者の入試方式別の偏差値 (合格者の記述模試平均 SS)

	一般入試 前期			一般入試 後期		
	'18	'17	'16	'18	'17	'16
人文文化	<b>64.6</b>	64.7	65.5	<b>69.4</b>	71.2	70.7
社会国際	<b>65.9</b>	66.3	65.9			
人間	<b>66.6</b>	65.4	66.8			
情報	<b>61.6</b>	62.2	61.5	<b>67.8</b>	64.4	65.0
理工	<b>62.0</b>	62.7	62.8	<b>69.5</b>	67.1	70.1
医	<b>66.3</b>	66.0	65.5		69.1	70.4
体育	<b>59.0</b>	57.8	57.1			
生命環境	<b>63.7</b>	61.8	63.7	<b>66.2</b>	67.7	66.9
芸術	<b>57.6</b>	57.7	57.1	<b>58.1</b>	59.4	56.3

## B 英語試験の概況

時間は 120 分。構成は大問 1、2 が長文、大問 3 が英作文である。出題の傾向は年によって変わるが、詳しくはパート C で確認すること。

### 【時間と難易度の目安】

	内容・語数	時間	難度
1	読解	40～45	D
2	読解		
3	英作文	30	D

文章のレベルは標準からやや難といったレベルで難解なものではない。選択問題は容易に解けるものが多いが、筆記は抽象的な設問も多い。また、単語がわからないと答えが絞りづらい問題がいくつかあり、ターゲット以上の単語も身に付けられるようにしたい。

時間配分は 1 つの長文につき 40～45 分を目安にしよう。筆記では、上述の通り、答えのポイントを絞りづらいことに加え、解答の字数が定められているものもあるため、下書きも含めると思ったより解党に時間がとられる。大問 3 の英作文が 100 語程度であることを考えるとできれば 30 分ぐらいは残しておきたい。

## C 出題形式ごとの分析とアプローチ

### ① 長文読解問題

【2018年 2月8日 大問1】

【1】 次の英文を読んで、下の問いに答えなさい。  
(星印(\*)のついた語には本文の後に注があります。)

A recent survey concluded that the average British person will say *sorry* more than 1.9 million times in his lifetime. This may strike some as a conservative estimate. From this, one might think that the British are especially polite. This might be true if *sorry* were always, or even usually, a straightforward apology. It isn't. The reason they stay on <sup>(1)</sup>the sorry-go-round is that the word, in their English, is so very versatile. A. A. Gill, writing for the benefit of visitors to the London Olympics, boasted that Londoners were just permanently irritated. He said, "I think we wake up taking offense. All those English teacup manners, the exaggerated please and thank yous, are really <sup>(2)</sup>the muzzle we put on our short tempers. There are, for instance, a dozen inflections\* of the word sorry. Only one of them means 'I'm sorry.'"

Here are just a few of the many moods and meanings these two syllables can convey:

"Sorry!" (I stepped on your foot.)

"Sorry." (You stepped on my foot.)

"Sorry?" (I didn't catch what you just said.)

"SORry." (You are an idiot.)

"SORRY." (Get out of my way.)

"SorRY." (The nerve of some people!)

"I'm sorry but. . ." (Actually I'm not at all.)

"Sorry. . ." (I can't help you.)

It's all in the tone, of course, and this is where *sorry* becomes permanently lost in translation. An American friend will never forget (ア) she finally figured out that *sorry* can be a tool of passive aggression in Britain's hierarchical social system — a form of dismissal. (ア) she was a college kid in England and people gave her an apology that was not sincere, but meant to <sup>(3)</sup>put her in her place, she would respond (省略)

1. 下線部(1)が示す現象が生じているのはなぜか、40字程度の日本語で説明しなさい。
2. 以下の選択肢の中で、下線部(2)の言い換えとして最も適切なものはどれか、記号で答えなさい。

All those English teacup manners, the exaggerated please and thank yous, are really what. . .

- (A) make us offensive                      (B) prevent us from showing anger  
(C) we are sorry about                      (D) we really want to show

5. 下線部(5)のような理由を挙げる背景とはどのようなものか、70字程度の日本語で説明しなさい。
7. 空所(ア)と(イ)のそれぞれに共通して入る最も適切な語を以下の選択肢から1つ選び、記号で答えなさい。ただし、本文では文頭にくる場合も、以下の選択肢では小文字にしてある。

[(ア)用の選択肢]

- (A) how              (B) since              (C) when              (D) where

[(イ)用の選択肢]

- (A) at                      (B) in                      (C) on                      (D) with

8. 次のそれぞれの記述について、本文の内容に合っているものにはTを、そうでないものにはFを記入しなさい。

- (A) Americans often give and receive compliments because their behavior is based on negative politeness.  
(B) Americans often say seemingly empty phrases because they usually want a relationship with others.  
(C) The British do not use *sorry* to mean it, because they have a negative nature.  
(D) The British tend to conceal what they really feel.

## 【形式・分析】

大問 1 と大問 2 の長文読解の問題。計 6～8 つの設問が出され、筆記と選択問題の両方が出題される。文章難易度は「やや難」で、立教や青山学院、早稲田・教育学部～文学部などと同等の文章レベルと言える。語数は 1000 語を超えるものもあり、近年の相互数を見ると少しずつ長くなっている傾向は見て取れる。しかし、最近では MARCH でも 1000 語オーバーが頻出であることを考えると決して「長い」と言えるものではない。また、私大のように速読で時間と勝負する問題ではなく、筆記の解答を丁寧に作り上げる国公立にあって 300 語程度長くなったところで影響は皆無と言える。

## 2018 年度の長文の語数

	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度	2014 年度	2013 年度
長文 1	950 語	840 語	1030 語	790 語	870 語	880 語
長文 2	1000 語	770 語	640 語	760 語	640 語	770 語
合計	1950 語	1610 語	1670 語	1550 語	1510 語	1650 語

設問については、2017 年度までは筆記は各大問とも 2 題ずつの計 4 題だった（それ以外の筆記は 1 語で答える問題や本文からぬき出す問題であった）。しかし、2018 年度は 2 題合計で 4 つの筆記問題が筆記の割合が筆記がこのところ変化が見られる。2017 年度までは、長文 2 題のうち 1 題は筆記問題であったが、もう 1 題は「サマリーに適語を入れる問題」や「内容の真偽を問う問題」も見られた。しかし、2018 年度は 2 題とも筆記問題になった。筆記の形式は内容説明、大問 1 で 2 題、大問 2 で 4 題と合計 6 題出題されている。選択問題や 1 語で答える問題などの数はほぼ変わらず、設問数が増えたのが見てわかる。これは解答時間に多少影響する部分で、語数が 300 語増えたことと合わせて、2018 年度は 10 分ぐらい時間配分が変わってくる要素になる。2019 年度の出題がどうなるかは蓋を開いてみないと分からないが、2018 年度の問題の時間の使い方をベースに過去問演習に取り組みたい。

## 2018 年度入試の大問構成

大問	設問	2018 年	2017 年	2016 年
1	1	筆記 40 字	選択問題 空所補充	筆記 抜き出し問題
	2	選択問題	選択問題 空所補充	筆記 50 字
	3	選択問題	筆記 30 字	1 語での筆記解答
	4	選択問題	1 語の筆記解答	選択問題
	5	筆記 70 字	筆記 50 字	1 語での筆記解答
	6	選択問題	TF 6 問	筆記 50 字
	7	選択問題 空所補充 2 問		TF 5 問
	8	TF 4 問		
2	1	筆記 40 字	筆記 50 字	1 語での筆記
	2	筆記 70 字	選択問題 空所補充 5 問	筆記 抜き出し問題
	3	選択問題 空所補充 4 問	選択問題	筆記 35 字
	4	筆記 40 字	選択問題	選択問題
	5	1 語の筆記解答	選択問題	筆記 30 字
	6	筆記問題	筆記 60 字	筆記 抜き出し
	7	1 語の空所補充 4 問	TF 4 問	選択問題
	8	TF 4 問		正誤判断 3 問

## 【アプローチ】

1 つの長文につき 40～45 分使えるわけで、筆記の解答ポイントをしっかりつかむためにもまずは全体を焦らず落ち着いて読み進めよう。900～1000 語が相場なので First Reading は 8～10 分かけてよい。

筆記問題は和訳ではなく説明する問題がほぼ全て。字数指定があるため、ピンポイントで過不足なく答えとなる個所を特定しなくてはいけないが、その特定が思った以上に難易度が高い問題もあり、過去問をこなしながら答えを特定するトレーニングを積む必要がある。

### <選択問題>

選択問題の中には本文のキーワードを精査して解答するものも多い。

### 例 1

3. 以下の選択肢の中で、下線部(3)の意味に最も近いのはどれか、記号で答えなさい。

- (A) apologize to her for taking her place
- (B) remind her of her position
- (C) return her to where she was
- (D) take the place of her

### <本文箇所>

people gave her an apology that was not sincere, but meant to (3)put her in her place, she would respond earnestly, “Oh, no, it’s OK! Don’t worry!”

### <アプローチ>

下線部を読むと「自分の家に戻らせる」という意味である。Put O in one’s place で「身の程を思い知らせる」という熟語らしいが（私も知らんがな）それを知っていることを求めているわけではない。表現のニュアンスから考えると(B)、(C)のどちらかということになり、（確かに C だとそのまんまじゃん！と疑いたくなるということは置いておいて）、「ひっこめ」的なニュアンスだったら C も選ぶ余地はある。そこで、そのパラグラフ全体を見てみると、“she finally figured out that *sorry* can be a tool of passive aggression in Britain’s hierarchical social system — a form of dismissal.” という一文がある。そう、これは「hierarchy（ヒエラルキー、階級）」という文脈での話だということに着目し、position（地位）というニュアンスがより強く出る B を選ぶ。

例 2

6. 空所( 6 )に入る最も適切な英文を以下の選択肢から 1 つ選び, 記号で答えなさい。

*Sorry...*

- (A) and American compliments are contrary to each other.
- (B) and American compliments serve similar social purposes.
- (C) is very different from American compliments for social purposes.
- (D) serves as a politeness device, but American compliments do not.

<アプローチ>

本文では「sorry」と言って相手を退けるイギリス文化と、知らない人にも気さくに話しかけて近づくアメリカ文化を対照的に語っているため、First Reading で得た感覚だけだと両者を異なるという風感じてしまう。

ところが以下の様な 2 つの文があることを精査する。

(アメリカ文化について)

This is because American society's fluidity can lead to insecurity.

(イギリス文化について)

In British culture, you're assumed to be secure in your place, to know where you stand. But in real life, who does? Practically no one.

ちなみに私が解いたとき、この no one のところに「=insecure」と書いた。この 2 つを着目してそのあとのパラグラフを読んでもみると、アメリカもイギリスも同じ「insecure」という文脈の中で行われているという共通点があり、そのあとの文章がより理解でき、そこから(B)という選択肢を選ぶ。



<筆記問題>

プロセスとしては以下を意識しよう。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>① 問題文を読み、何が求められているのかを正確につかむ。</li><li>② 該当箇所のパラグラフを読み、①のキーワードがないかを確認する。</li><li>③ 抽象的な部分を具体化させていく</li></ol> |
|--|

字数については、原則「20~25字で1つのポイント」というものがあり、それを1つの目安として解答したい。つまり、30字であれば1つのポイント、40字~70字であれば2つのポイント、60~70字であれば3つのポイント、というように頭の中で整理をしていく。また、「~字程度」という問題の場合は±1割の語数（40字程度なら36~44字）に収まるように整える。時間が迫っている場合以外は、必ず下書きをテスト用紙にしてから解答用にしに書くこと。

次ページ以降、2018年度の問題から2つアプローチ例を見てみよう。

例 1

大問 1

1. 下線部(1)が示す現象が生じているのはなぜか、40 字程度の日本語で説明しなさい。

<本文箇所>

The reason they stay on (1)the sorry-go-round is that the word, in their English, is so very versatile.

<アプローチと分析>

この問題は「なぜか」という理由を答える問題だが、本文が the reason から始まっていることから the sorry-go-round という現象を具体的に理解した上で、that the word, in their English, is so very versatile という部分を中心に答えればよいのが分かる。the sorry-go-round という現象は「sorry が多用される現象」ということは本文の流れですぐ分かるが、「たいていは sorry という本来の意味で使われていない」ということは前後の関係でつかんでおく必要がある。解答のポイントとなるのは「versatile」という単語である。難易度の高い言葉だが上位者は知っている生徒もいるだろう。「versatile」は「用途が広い、多岐にわたる」という意味で「sorry の本来の意味以外で使われている」こととつなげて考えられるところである。そしてその後「a dozen inflections of the word sorry (sorry という言葉の派生的用法)」として述べられている様々な sorry の例へとつながっていく。しかし、下線部の直後には「Londoners were just permanently irritated ... the muzzle we put on our short tempers.」という内容があり、「イライラしているロンドン社会で、自分たちの短気をなだめるもの」といった内容がある。ここを解答として答えてしまうことが自然だが、そこをつなげたときに versatile という語を推測しまちがう可能性が高くなってしまう。versatile という単語を知っていればすんなり解答にたどり着くが、これを知らないと答えがずれてしまう。

<具体化>

The reason they stay on (1)the sorry-go-round is that the word, in their English, is so very versatile.



sorry-go-round とはどのような現象か	→	どのように多用しているのか
・イギリス人が sorry を多用する現象		・人生で 190 万回も使う ・本来の謝罪の意味以外でも使いまくっている
なぜか	→	用途が広いとは具体的にどういうことか
・ sorry という語の用途が広いから。		・本来の謝罪という意味以外にも様々な機能を持つ ・イライラするイギリス社会で短気をなだめてくれる

<MAX 解答例>

sorry という語は謝罪以外にも多様な用途を持ち、短気なイギリス社会をなだめる言葉だから。(43 字)

例 2

1. 下線部(1)の最終的な目標は何か、40 字程度の日本語で答えなさい。

<本文箇所>

How far are we prepared to go to kick-start (1)green revolution 2.0?

<アプローチと分析>

この問題で問われているのは「最終的な目標」である。その答えをいきなり求めようとするのではなく、「最終的な目標」というようなニュアンスで書かれているところがないか、本文で確認をする。本文には Feeding ourselves without spoiling the planet is one of the biggest challenges we face. という一文が直前にある。ここに着目して、解答を特定する。ただ、green revolution 2.0 というものが何物なのかの説明できていないので、その具体化を行っていく。

<具体化>

How far are we prepared to go to kick-start (1)green revolution 2.0?



green revolution 2.0 とは何か

→

(original) green revolution との違いは何か。

・農業のデジタル化による生産性アップ

・機械化、肥料、種の改良による生産性アップ

最終的な目標

Feeding ourselves without spoiling the planet is one of the biggest challenges we face.



2050 年には世界人口が 100 億人に達する予測がある

<MAX 解答例>

農業のデジタル化によって世界 100 億人の食料を地球環境を汚染することなく確保すること。(40 字)

「抽象的な部分を特定し、具体的に答える」という点については、「本文を読んでいない人が自分の解答を読んだとき、理解してもらえるかかどうか」ということ判断基準にするのは毎回の通りである。ただ単に過去問を解いて答え合わせするのではなく、模範解答をもとに、「抽象→具体」というプロセス、どこまで具体的な情報を書くべきか、ということは何度も確認しながらスキルアップしていこう。

大問 3

【2018年 大問3】

あなたは speed dating についてのディベート大会に参加します。以下の英文を参考にして、自分自身の論拠を示しながら賛成と反対の意見をそれぞれ 50 語以上の英語で書きなさい。

These days, the population of Japan is in decline. Some people are getting married later. Some people are deciding not to marry. Meeting marriage partners is difficult. In the past, *Omiai* was practiced, but it is uncommon today. Some people in Japan support alternative matchmaking practices, including speed dating.

Speed dating helps single men and women meet a large number of people. They meet each other for short three to eight minute “dates”. At the end of the event, they submit a list of people who they would like to meet again. If there is a match, contact information is given to both parties.

Speed dating has some advantages. First, it is fun. Also, everybody is there to get married. They are grouped with people the same age. Participants can come alone without feeling shy. Also, it is something that women can do in groups. People do not feel pressure, because the matching happens after the event.

On the other hand, speed dating has some disadvantages. Many speed dating events are held in bars. Many people don't like bars. Also, a couple that decides they are not a good match quickly must sit together until the end of the “date”. Most speed dating events match people at random. Participants will meet different “types” that they might not normally talk to.

【形式・分析・アプローチ】

簡単な文章が与えられ、それに対して意見を述べる形式。2017 年度まではいくつかの選択問題を含み、そのあとに 80～90 語で自分の意見を述べる問題だったが、2018 年度は付随の選択問題はなくなり「賛成」「反対」の両立場で 50 語ずつ書く問題となった。

まずはしっかり問題を読むこと。2018 年度は「この英文は参考であること」「自分自身の論拠を示しながら」答えなくてはならない。なので、本文で書かれている理由以外に述べるか、本文の理由を発展させて自分のディスカッションとして書かなくてはならない。

次に、論理構成として以下を意識すること。

論理構成のプロセス

- ① 問題文の抽象的な部分を特定し、具体化して、自らの主張を答える。（主張）
- ② それに対して Why、How という 2 つの要素を答える。（議論）
- ③ Situation や条件を具体的に述べる。（具体例、サポート）

単純に「Speed-dating が良い点／悪い点」を考えていくが、「何をもって良いのか／悪いのか」、「なぜそれが良い／悪いのか」ということを考えて「抽象から具体へ」とつながる思考を頭の片隅で意識したい。

過去の問題も見てみると、筑波のライティングに見られるものとして、反論をさせるものがある。2013年のものが典型的かつポイントがつかみやすい。2015年度にも同じような問題が出題されている。

[B] 下の英文に対する反論を 80 語程度の英語で書きなさい。(句読点は数える必要はありません。)

Cell phones should not be allowed in school for a couple of reasons. First, they are too much of a distraction. When students are in class they need to focus on the subject they are studying, not checking their mail or surfing the Internet. Second, ring tones and vibration noises from cell phones interrupt the class. This irritates the teacher and distracts the students from their studies. In other words, cell phones negatively affect the learning environment.

この問題に答えるには、まずは何に反論するのかを特定しなくてはならない。単に携帯電話の長所を述べてもダメである。また「携帯電話のマナーを教えよう」「学内では使わせない」というような対処方法を書いても反論にならない。

**筆者の主張**

- Cell phones should not be allowed in school for a couple of reasons.
- cell phones negatively affect the learning environment.



**反論**

- 携帯電話が学習環境にもたらす影響はポジティブであり、携帯電話の利用が認められるべきだ。

反論すべき筆者の主張にしっかりと下線部を引いて意識するべし。筆者は「携帯電話は学習環境に悪い影響がある」もし、携帯電話の是非を通学中や一般的なマナーの点から反論しても論点違いになってしまう。論点を常に意識しながら、ストレートに問題に答えなくてはならない。